

MODEL FI-S263A FI-S353A

高性能サイン波インバーター

- 高信頼山洋ファン使用
- 波形歪は商用の電力よりも良好である 3%
- 極めて耐久性の高いソリッド・ステートにより
高信頼性
- 出力変動 +/-5%
- 水晶制御に依る為高安定周波数 0.1%
- 低電圧遮断 自動復帰
- 入力過電圧遮断
- 過負荷警報
- 出力短絡保護遮断
- 過負荷保護遮断
- 高信頼な部品により長期間により使用可能
- 3年間の安心無償保証
- PL法の製造物責任保険付き
- 産業用/業務用には適切なデューティ・レシオで使用
- 節電モードで待機電流 90mA (12Vタイプ)
- 入力電圧 12V, 24V, 48V を購入時にご指定下さい
- DINソケットまたはREMO-DIRECT端子で外部制御可能
- オプションにてブザー消音



FI-S263A



FI-S353A

規格	FI-S263A-12Vdc	FI-S263A-24Vdc
型名	FI-S263A-12Vdc	FI-S263A-24Vdc
連続	260W	260W
出力尖頭値	520W	520W
システム電圧	12Vdc	24Vdc
直流入力範囲	10.0-15.5V	20.0-31.0V
出力電圧	100/110/120Vac (DIP SW 切替)	
出力安定度	± 5%	± 5%
出力歪率	THD<3%	THD<3%
減電圧遮断	10V ± 0.5V	20V ± 1.0V
減電圧復帰	12V ± 0.5V	24V ± 1.0V
減電圧ブザー音	10.5V ± 0.5V	21V ± 1.0V
過電圧遮断	15.5V ± 0.5V	31V ± 1.0V
過電圧復帰	14.5V ± 0.5V	29V ± 1.0V
高電圧警告	15V ± 0.5V	30V ± 1.0V
周波数安定度	50/60Hz ± 0.1% (DIP SW 切替)	
変換効率	※ 86%	※ 87%
無負荷待機電流	0.7A	0.35A
節電電流	90mA (min)	60mA (min)
動作温度	-10°C - +50°C	
保存温度	-30°C - +70°C	
冷却方式	自動開始冷却ファン (温度と負荷の制御)	
寸法	152 (W) x 72 (H) x 210 (D) 突起含む ± 3mm	
重量	1.7kg 以下	

電源 ON	2度鳴る。緑→橙→赤→緑
正常	緑点灯
節電モード	緑点滅 (2秒毎) その後 30分 で遮断
出力過負荷	赤急速点滅、2度短鳴音。30秒後遮断し、5回復帰
出力短絡	遮断、赤急速点滅、2度短鳴音。
高電圧遮断	赤急速点滅、遮断
高電圧	橙急速点滅
低電圧	橙ゆっくり点滅、5回短く鳴音 (15秒毎)
減電圧遮断	赤ゆっくり点滅、遮断

(※) 印は参考値

規格	FI-S353A-12Vdc	FI-S353A-24Vdc	FI-S353A-48Vdc
型名	FI-S353A-12Vdc	FI-S353A-24Vdc	FI-S353A-48Vdc
連続	350W	350W	350W
出力尖頭値	700W	700W	700W
システム電圧	12Vdc	24Vdc	48Vdc
直流入力範囲	10.0-15.5V	20.0-31.0V	40.0-62.0V
出力電圧	100/110/120Vac (DIP SW 切替)		
出力安定度	± 5%	± 5%	± 5%
出力歪率	THD<3%	THD<3%	THD<3%
減電圧遮断	10V ± 0.5V	20V ± 1.0V	40V ± 2.5V
減電圧復帰	12V ± 0.5V	24V ± 1.0V	48V ± 2.5V
減電圧ブザー音	10.5V ± 0.5V	21V ± 1.0V	42V ± 2.5V
過電圧遮断	15.5V ± 0.5V	31V ± 1.0V	62V ± 2.5V
過電圧復帰	14.5V ± 0.5V	29V ± 1.0V	58V ± 2.5V
高電圧警告	15V ± 0.5V	30V ± 1.0V	60V ± 2.5V
周波数安定度	50/60Hz ± 0.1% (DIP SW 切替)		
変換効率	※ 86%	※ 87%	※ 88%
無負荷待機電流	0.7A	0.35A	0.15A
節電電流	90mA (min)	60mA (min)	40mA (min)
動作温度	-10°C - +50°C		
保存温度	-30°C - +70°C		
冷却方式	自動開始冷却ファン (温度と負荷の制御)		
寸法	152 (W) x 72 (H) x 210 (D) 突起含む ± 3mm		
重量	1.7kg 以下		

電源 ON	2度鳴る。緑→橙→赤→緑
正常	緑点灯
節電モード	緑点滅 (2秒毎) その後 30分 で遮断
出力過負荷	赤急速点滅、2度短鳴音。30秒後遮断し、5回復帰
出力短絡	遮断、赤急速点滅、2度短鳴音。
高電圧遮断	赤急速点滅、遮断
高電圧	橙急速点滅
低電圧	橙ゆっくり点滅、5回短く鳴音 (15秒毎)
減電圧遮断	赤ゆっくり点滅、遮断

(※) 印は参考値

注：出力は抵抗負荷であります。
注：規格は予告なく変更することがあります。

POWER TITE

ご使用前にお読みください

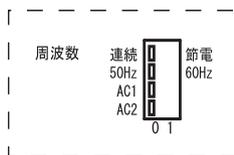
○電源周波数

電源周波数については地域により 50Hz か、あるいは 60Hz があり、使用されている家庭器具の対応する周波数は機種により、そのいずれかに専用の器具もあります。地域による違いは下記の通りです。

注意：周波数変更は必ずインバーターが停止状態で行ってください。

50Hz の地域 静岡県の富士川を境界として東側の地域 一部の新潟県 東京都、埼玉県、群馬県等
60Hz の地域 静岡県の富士川を境界として西側の地域 長野県は基本的には 60Hz 一部の新潟県 富山県、岐阜県、愛知県等

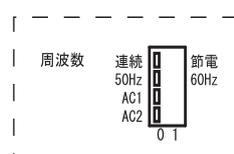
周波数の指定



周波数	ディップ・スイッチ
50Hz	0
60Hz	1

左図は 50Hz の場合

○節電モード



節電モード (POWER SAVING) を動作させると、指定電力以上の負荷を接続したときに動作して、負荷がない時には (以下のとき) には AC 出力を実質的に遮断して、消費電流を節約します。

消費電流を節約します。

※節電モードを使用する時は節電スイッチを 1 側にする。節電モードを使用しない時は節電スイッチを 0 側にする。

節電モードに於いては、2 秒ごとに 1 サイクル出力して、負荷があれば (30W ± 10W 以上の負荷がある時には) 100VAC が立ち上がります。負荷が 30 分以上なければ、節電モードも停止して、状況ランプは赤点灯となります。この時は、主スイッチあるいはリモコン機能よりスイッチを入れなおす操作をすれば 100VAC が立ち上がります。

○節電モードでの電流

節電モードでないときには、待機電流が例えば、12V タイプで 0.7A 以下、24V タイプでは 0.4A 以下ですが、節電モードに設定した場合は、下記の待機電流に下がり節電することが出来ます。

注：待機電流：スイッチ を ON にして負荷を接続しない時のインバーターの消費電流を言います。

S263A-12V	S263A-24V	S353A-12V	S353A-24V	S353A-48V
90mA	60mA	90mA	60mA	40mA

○負荷の種類によるデューティー比

電動器具は連続の 1/3 程度

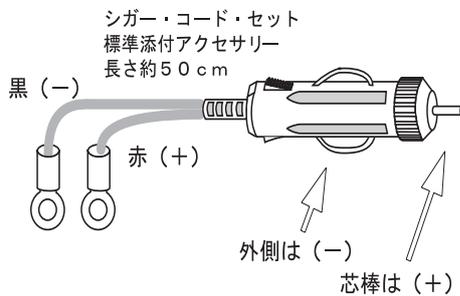
蛍光灯は連続の 1/2 程度

整流負荷は連続の 1/2 程度

負荷がソレノイド・コイルなどでは、その最大電流がインバーターの連続仕様の電力に入っていること

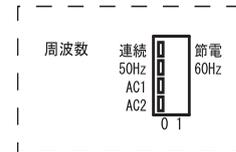
○シガーコード (オプション品)

注意：120W (10A) 以下でご使用ください。シガレット・アダプターでは電圧降下があり DC コードが加熱し、AC 出力が低下しますので、大きい出力を必要とする時にはシガー・アダプターは使用せずに、更に太い線で電池から直接配線してください。



○ AC 出力電圧の切り替え

本機 FI-S263A、FI-S353A ではディップスイッチの切り替えにより、AC 出力を設定出来ます。



出力電圧の設定を間違えると、接続した機器を壊しますので注意してください。

注意

○出力 AC 電圧の設定		
AC 出力	AC1	AC2
100VAC	0	0
110VAC	1	0
120VAC	1	1



トランスで昇圧して使用することは出来ません。AC200V 対応をご希望の際はご連絡ください。

注意

POWERTITE

○動作前の注意

ご使用前に下記の注意に留意して動作確認を行ってください。

注意 ”状況”レベル灯の赤が点滅している時には過負荷予告です。使用負荷を軽くして使用してください。

注意 ”状況”レベル灯の橙ゆっくり点滅、5回短く鳴音（15秒毎）時には入力低下しているか、あるいは過大予告です。バッテリーなどの電圧が適正か調べてください。

注意 ”状況”灯の赤点灯していると、本器は何らかの異常により停止状態にあります。下記のような場合かどうか調べてください。

入力過電圧
入力低電圧
過温度
過負荷
負荷短絡

このような場合には必ず障害を取り除いてから、電源スイッチを入れなおすようにしてください。

注意 規定の定格出力以内でご使用ください。
定格出力を超えてのご使用は故障の原因となります。

設置場所

インバーターは下記条件を満たす様な場所に設置してください。

1. 水気

水気のない所インバーターを湿気、水滴、塩気環境では絶対使用しないこと。

2. 冷氣

環境温度は-10℃～+50℃の間で、出来るだけ涼しい場所に設置すること。なお、0度以下の環境の時にインバーターを動作させ露結（水滴が付着する事）すると絶縁が悪くなり、特に高電圧部分が故障するので、必ず露結しない環境にすること。

3. 換気

インバーターの周辺には少なくとも5cm空気の流れが出来るように隙間を開けてください。又、前後面の換気口の周辺（特に下部）にも隙間を開ける様に注意してください。

4. 安全

インバーターを蓄電池及び可燃性のガソリン等と同じ部屋に設置しないこと。

警告 絶対にガソリン・タンク等と一緒に置かないこと。

○DCケーブル

入力大きな電流が流れます、DC入力ケーブルは下記のように十分に太さのあるケーブルを使用してください。

またプラス、マイナスともに蓄電池に直接接続し、車両のアースなどは使用しないでください。

推奨 DC ケーブルサイズ

FI-S263A-12VDC	では 8mm 平方の断面の電線で長さ 3m 以内
FI-S263A-24VDC	では 5mm 平方の断面の電線で長さ 3m 以内
FI-S353A-12VDC	では 8mm 平方の断面の電線で長さ 3m 以内
FI-S353A-24VDC	では 8mm 平方の断面の電線で長さ 3m 以内
FI-S353A-48VDC	では 5mm 平方の断面の電線で長さ 3m 以内

注意 8mm 平方 (mm²) 以上の DC ケーブルは赤黒カバーに入りづらいので、お客様自身で考えてお取り付けください。入力の赤黒カバーを外した場合には十分絶縁して、短絡事故などが起こらないように対策してください。

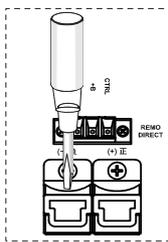
断面積 mm ²	電流 (A)	長さ (m)	電圧降下 (V)	注意項目	適応機種
5	25	3	0.49	線材細い	FI-S263A-12V
8	25	3	0.30	線材選択良好	FI-S263A-12V
14	25	3	0.17	線材選択良好	FI-S263A-12V
5	34	3	0.66	線材細い	FI-S353A-12V
8	34	3	0.41	線材選択良好	FI-S353A-12V
14	34	3	0.24	線材選択良好	FI-S353A-12V

○過度に大電流の充放電繰り返し

危険 密閉式電池を使用して規定以上の大電流の充放電を短時間に繰り返すと電池内にガスが発生して、内部で吸収仕切れずに、電池のふくらみ、液もれや、最悪の場合には、電池が破裂することがあります。その場合、身体に悪影響を及ぼす危険がありますので、すぐに専門医へ行かれる事を推奨します。また電池の専門家に相談の上、使用することをお勧め致します。

○直流入力電線の接続の注意：

注意 入力の電線は充分太い種類を使用して、後面入力端子にしっかりとネジを締めて取り付け下さい。特にネジ止めがしっかりとしないと、端子部分が発熱する場合があります。端子が発熱すると止めが緩くなり、更に過熱して故障の原因となることがあります。このため、すべての設置が完了してから、先ず 100WATT 程度の軽負荷で試験を行い、更に 200WATT の電熱器をつなぎ 5 分ほどの試験を行い、入力電源端子部のネジが発熱していないことを確認してください。発熱する場合には左図の様にネジを適合ドライバーで絞め付けてください。ネジは丁寧に力強く締めてください。「ネジがしまらない」等の症状が出た時には弊社まで御連絡ください。



図は12VDC用です。

注意 ネジをゆるめるとき回しすぎるとネジが抜けて、再度入れる時に入れにくくなりますので、ネジは注意して真っ直ぐに回してください。

直流入力端子の締め付けにはプラス・ネジ溝に合ったドライバーを使用してください。又 DC 端子カバーの中で外したネジはラジオ・ペンチを使用して取り外しをするとやり易いです。

POWERTITE

○適切なバッテリーの容量

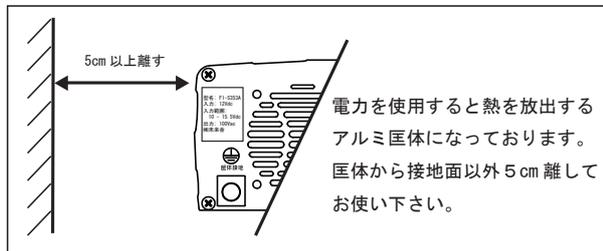
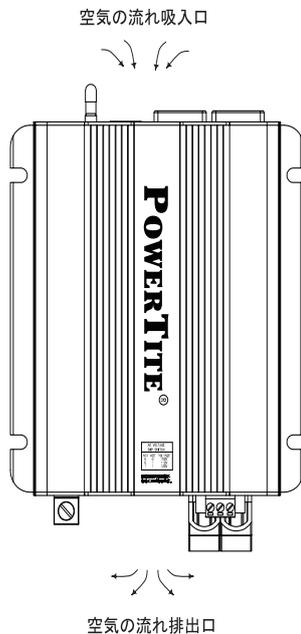
大きな電力を使用する時は、65Ah くらいの電池容量を用意することをお勧めします。充電器を使用して前もって電池を満充電しておく等の対策が必要となります。この用途の充電器には弊社のCH-1212TGTD/CH-1225GTDが在ります。インバーター使用時には他の大きな電力機器、クーラー等は使用しないで下さい。

○本体からピーピー音がするトラブル

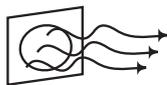
一番最初の使用で本体が過熱していないのにピーピー音がするのは基本的にはインバーターの入力端子部分で直流電圧が規定より低い電圧 (10.5V/21.0V (参考値)) 以下になると電池の消耗を防ぐ為にこの警報音が鳴ります。前述の「適切なバッテリーの容量」を参照して下さい。9割方の原因は電池容量が小さい為にすぐに警報音が鳴る事です。この場合には電池容量を増加して下さい。また、入力に接続するケーブルは、長さ3m以内、8スクウェア以上の太さのものを使用して下さい。これで解決出来るはずがあります。

○空気の流れ

空気の流れは前面パネルの空気穴より後面の方向に流れ出ます。これらの出入り口から絨毯や周辺の物体は5cmより離れているように注意してください。換気が悪いと本体が過熱して故障の原因ともなり得ます。



警告



十分な排気をしてください。

注・本体を揺らすと内部のフェライトビーズの振動音がする場合がありますが、これは正常です。



○無停電源 (UPS) 又は交流出力の注意 切り替え

インバーターの交流出力と商用交流を切り替えて、無停電源 (UPS) のシステムを組むときにはしばしば交流の逆流の可能性があり特にリレーで切り替えるとこの可能性が極めて高くなり、極めて短時間の逆流でも必ず故障します。大電力時のリレーの切り替え時に発生する電気火花の長さは10mmにもなり、この火花は容易に他の端子に波及します。リレーが切り替わっていても火花が持続して、電気の逆流が起こります。これは弊社の欠陥ではありませんので弊社が特別に保証したシステム以外はこの用途の故障及び関わる事故に付いては責任を持ちませんのでご了解願います。使用者の責任となりますが、単なる参考にお知らせしますが、どうしても交流出力を商用と切り替えたい時には、10cmx15cm程の陶器製の大型のナイフ・スイッチで、一線だけでなく二線両方を完全に切り替える様にしてください。即ち2回路2接点の大型スイッチが必要となります。

○取り付け位置

インバーターの取り付け位置は水平になるように取り付けてください。それ以外の横や縦に取り付けると取り付けネジに加重が掛かり脱落や、空気の流れが悪くなったりしますので気を付けてください。

○コンピューターの使用

車等でコンピューターを使用する時には、インバーターが時々出力を遮断してコンピューターが使用できないと言う問題が起こる事があります。これは車等の発電器が動作している時、稀に入力過電圧遮断以上になり、従ってインバーター側では入力電源がより高くなるとインバーターを保護する為に出力を自動的に遮断します。このとき結果的にコンピューターが使用でなくなるわけです。このような対策には車の電池とは別の電池(サブ・バッテリー)を使用して車の電源とは影響を受けないようにしてください。

○装置に有害な薬品の注意



装置に有害な薬品、例えば、少量の硫酸またはその飛沫等が本機に誤ってかかってしまった場合は不適切な環境での使用として保証期間内でも有償修理となります。極まれに電池の硫酸の飛沫等がかかってしまったケースがありますのでご注意ください。

○電池からの距離



警告



電池との隔離をしてください。

電池の硫酸雰囲気を避けるために、インバーターと電池を1m以上離して設置し、電池からの空気対流が来ない壁などの遮蔽対策を行ってください。

○最大負荷での使用の注意

最大負荷の出力を長時間使用する時には、インバーターが過熱しますので取り扱いにご注意ください。また、過熱した時には一度使用をやめて冷却してから使用するようにしてください。

○過熱後のスイッチオフ

過熱後に電源スイッチを切にしたとき、本体が過熱状態で再度電源スイッチを入れると、警報音が出ることがあります。このときには、本体が冷却してからスイッチを入れてください。

○ LED ランプや誘導性負荷の注意



誘導性負荷、モーターやトランスを使用しているものでありますが、電力の誘導性の機器を使用する時には注意が必要であります。この誘導性負荷をつなぐと極めて瞬間的に4～5倍の大電流が流れます。

冷蔵庫等では更に突入電流が大きく6～7倍となります。

また、LED ランプについては、電流ピークが定格の4～5倍流れます。

例えば、LED ランプ5W のものを10個点灯すると、消費電力50W となりますが、その電流ピークは7倍とすれば350wattのインバーターが必要になります。

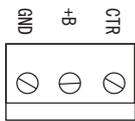
この為、過大電流がインバーターの定格以内になるように注意して、つなぐ機器の大きさを選択してください。

○ REMO-DIRECT 端子

FI-S263A、FI-S353A には外部制御機能として後面にREMO-DIRECT と表示した端子を装備しています。

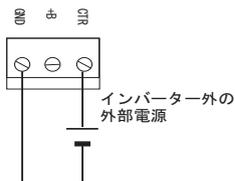
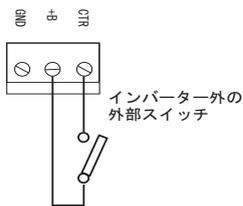
REMO-DIRECT の機能はDIN ソケットを使わずに外部制御を一番簡単に行う方法です。この方法はインバーターをお客様の装置の内部に組み込む場合などに便利です。

REMO-DIRECT



REMO-DIRECT 端子には、12VDC (24VDC) を加えるとインバーターがONになる機能と、ショートするとインバーターをONに出来る機能が装備されています。REMO-DIRECT 端子はGND、+B、CTRの3つのピンがでています。

REMO-DIRECT



○ 外部スイッチで ON/OFF する方法

+B と CTR 端子を電気的に接続する事によりインバーターをON/OFF することが出来ます。

○ 外部から 12VDC (24VDC) を加えて動作する方法

エンジンキーなどから、CTR 端子に12VDC (24VDC) を加えてインバーターをON/OFF することが出来ます。(12V インバーターは12V を。24V インバーターは24V を加えてください)



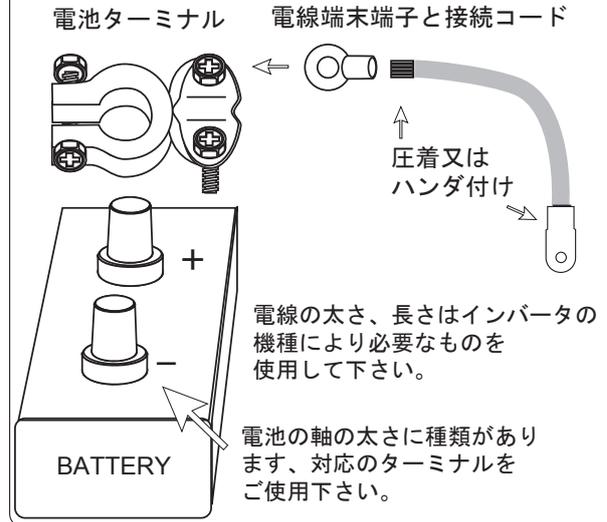
注意

配線の際は外部電源の極性を必ずご確認の上接続下さい。逆接すると本体が故障します。

○ 代表的な電池端子と電源コードの接続

参考としてバッテリーとの接続方法を下記に示します。下記のすべて、または一部の部品は製品に含まれていません。接続コードをご用意している場合があります。機種名と共にご連絡下さい。

注：別売(添付)の接続コードは電線端末端子と電線です。電池ターミナルは販売していません。



注意

マイナス側 DC コードも電池端子より直接引いてください。マイナス側に車両のボディー・アースの使用は予測不能トラブルの原因となりますので、絶対に使用しないでください。例えば、予測不能ノイズの発生、インバーターの異常動作、接続機器への異常電流発生などが考えられます。



注意

○ 筐体接地

インバーターの後面に”筐体接地”と呼ぶ接地端子があります。これはインバーターのシャーシを接地するもので、AC 出力の3ピンの場合の接地端子にもつながっています。接地端子は安全のため必ずアースして下さい。車でのご使用の場合には車体、船舶の場合には、その接地体につないでください。固定用途(家など)では大地に刺したアース棒で接地して下さい。接地線には2mm 程度のものをご使用ください。



危険

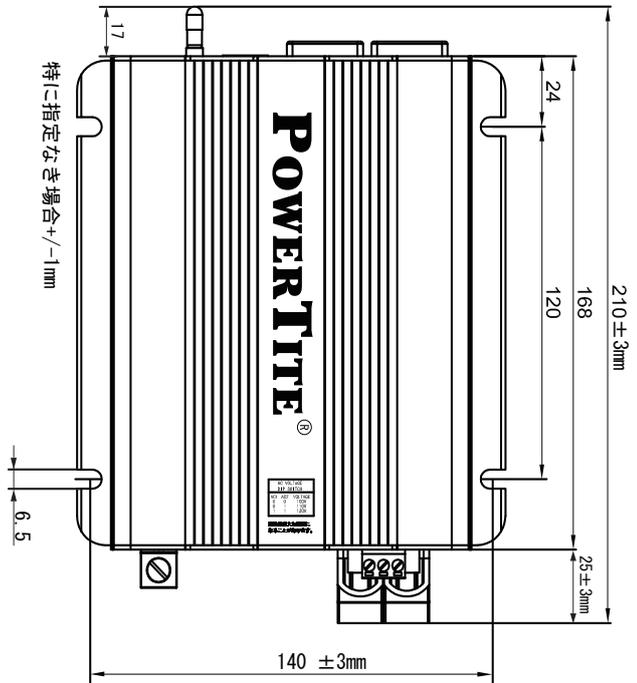
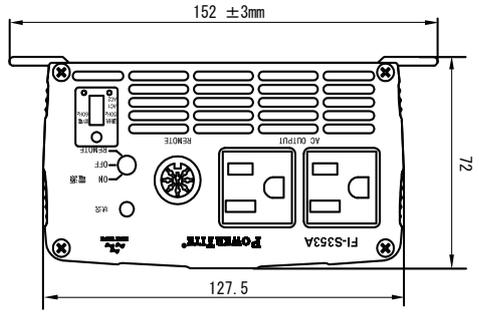
ボートなどで、陸上から或いは家庭の電気にこのインバーターをつなぎ船舶機器につながっている場合には、必ずこの接地端子を大地に接地してください。海上のボートは海(塩水中)が大地となり、陸上との間で高電位が生じることがあります。陸上の大地にアースしないと感電し身体に危険です、必ず接地してください。



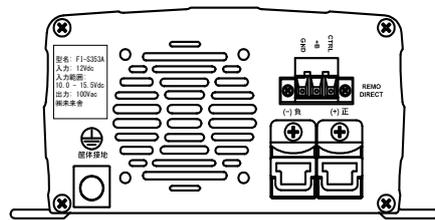
危険

車に充電器を装備して、車体の下で車の修理作業をする時には、充電器及び他の商用から交流を取る電気機器を使用しているときは、インバーター・充電器及び他の電源スイッチを必ず切ってください。又、必ず接地してください。

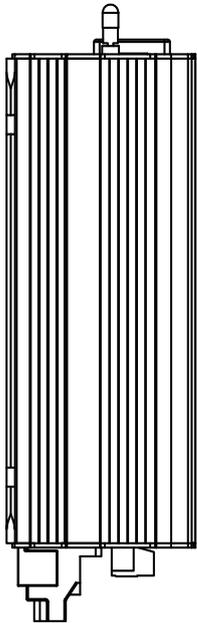
POWERTITE



特に指定なき場合+/-1mm



DC端子取付ネジ
M5-10



850 DC CABLE Length 1.5m

※48VにIHD0 CABLE付属されません

株式会社 未来舎

TITLE
FI-S353A/FI-S263A
DC-AC INVERTER

承認 日付	承認 NISHIMURA 2014/8/27	検査	技術
----------	------------------------------	----	----

単位 mm
図面番号
SHEET: 1 OF 1
改定

文字色	文字字体
素材名	所要寸法
仕上処理	塗装/材料色

POWERTITE

FI-S263A/353A 外部制御用 DIN 端子仕様

FI-S263A/353A の DIN 端子により、本体の LED 信号および本体電源の ON/OFF を外部に引き出すことが可能です。下記事項をご確認の上ご使用下さい。

■LED 信号出力 (5/6 と 8)

本機の LED 制御と同じ信号が出力されています。この端子には抵抗が接続済みですので 20mA 以下の LED を直接接続して下さい。

本機の LED は、赤／緑／橙の3色で機能表示します。本出力の LED に赤 / 緑の2色 LED を使用すると同じ色表示となります。

■電源 ON/OFF (4 と 7)

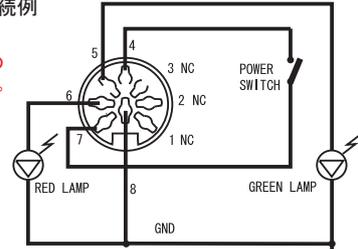
端子間を短絡すると本体の電源を ON にすることが可能です。

電源の ON/OFF には本体の電源スイッチを REMOTE 側にする必要があります。

端子間に使用するスイッチは、100mA 以上、電圧は本機の DC 入力電圧上限以上の定格のものをご使用下さい。

外部制御用DIN端子接続例

右図はプラグ/ソケットの説明とピンが裏返しています。ご注意ください。

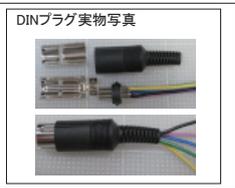
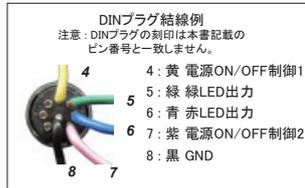
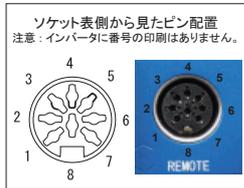


ご注意：
GND は、DC 入力 (-) 側に接続されています、筐体との接続はありません。

警告：
リモコンの配線は電気知識のある方が行って下さい。
配線の間違いによる機器の損傷は有償修理となります。

ピンの説明

- 1: NC
- 2: NC
- 3: NC
- 4: 電源ON/OFF制御1
4,7がON/OFFします。
- 5: 緑 LED出力
- 6: 赤 LED出力
- 7: 電源ON/OFF制御2
4,7がON/OFFします。
- 8: GND



株式会社 未来舎	TITLE	FI-S353 DIN SOCKET WIRING	承認	検査	技術	単位	mm	図面番号	改定
	承認				NAKAMURA	日付			
	日付				2013/11/14	日付		SHEET: 1 OF 1	

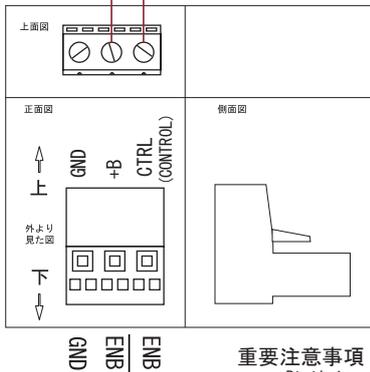
REMO-DIRECT TRADE MARK

適用機種： FI-S263A FI-S353A
FI-S353AW FI-S703A FI-S1003
FI-S1503A FI-S2003 FI-S3003
FI-SU1003 FI-SU1503 FI-SU2503

但しFI-S3003の初期バージョンには装備していません。

(+B)-(CONTROL)間をジャンパーした場合
ここに流れる電流は、約80μA (参考値)

制御電流は微弱なので、規定以上に延長した場合は誤動作しないことを十分確認の上使用してください。
誤動作の防止にはシールド線を使用するのの一つの方法です。



CONTROL端子に同じ端子の+BをつなぐことによりインバータがONになります。
CONTROLと+Bの接続を切断または接続しないとインバータはOFFとなります。
推奨トルク：8kgf・cm

○注意：

- 1) 12VタイプのインバータはCONTROL端子に加えることができる電圧は12-15VDCです。
- 2) 24VタイプのインバータはCONTROL端子に加えることができる電圧は24-30VDCです。
- 3) 48VタイプのインバータはCONTROL端子に加えることができる電圧は48-60VDCです。
- 4) +Bの出力は他の用途に使用しないで下さい、他の用途に使用して故障した場合は有償修理対象です。

重要注意事項：

- ・ +Bにはインバータ内部からの電源が出力されています。
- ・ これはCONTROLへの接続専用の電源供給端子です。他の用途には使用できません。
- ・ +B とGNDを接続するとインバータの内部が損傷します。損傷時の修理は有償修理対象です。
- ・ +B に外部からの電圧を加えるとインバータの内部が損傷します。損傷時の修理は有償修理対象です。

注意：REMO-166/REMO-182との併用は出来ません。
端子の表記は機種によって異なります。

株式会社 未来舎	TITLE	REMO-DIRECT REMOTE CONTROL	承認	検査	技術	寸法	図面番号	改定
	承認		NISHIMURA			日付		
	日付		2015/04/16			日付		SHEET: 1 OF 1

POWERTITE



過負荷で自動遮断した時

注意

使用機器の負荷が大きく過負荷により自動的に出力が遮断した時には必ず接続した機器を完全にはずしてから、インバーターの電源スイッチ（REMO-DIRECT を含む）を再度入れてください。使用機器を接続したまま再度インバーターのスイッチを入れられないように注意してください。



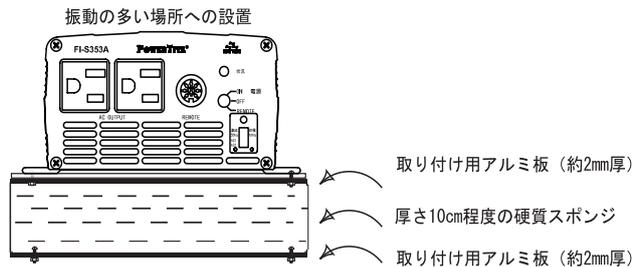
マイナス側 DC コード

注意

DC 入力用のコードはプラス、マイナス共に電池端子に直接接続してください。車両のボディ・アースを DC 入力のマイナスとして使用することは絶対に行わないでください。

○振動の多い場所への設置

本機を振動の多い場所に設置しないでください。小型船舶などへの搭載ではエンジンの微細振動が常時加わることで、インバーターの内部部品のリード線やプリント基板の配線が劣化を起し、2-3ヶ月で容易に破壊します。振動の多い場所への設置には振動が本機に伝達しない十分な対策を必ず行ってください。対策の参考例として下記に示します。但し、この方法で製品または安全を保証するものではありません。



○ PL 法

弊社の全製品について製造物責任の PL 法に対する対物対人の保険が掛けられています。

未来舎 **POWERTITE**® は、出荷前の品質適正検査等を実施し、エンドユーザーの皆様のお手元で安心して使って頂けるよう、厳しい品質管理を心がけています。また、オプションも幅広く提案し、いかなる現場でも使えるように日々、精進し生産しております。

POWERTITE®

〒114-0001 東京都北区東十条5-5-9

株式会社 未来舎

TEL 03-3901-8261 FAX 03-3901-8207

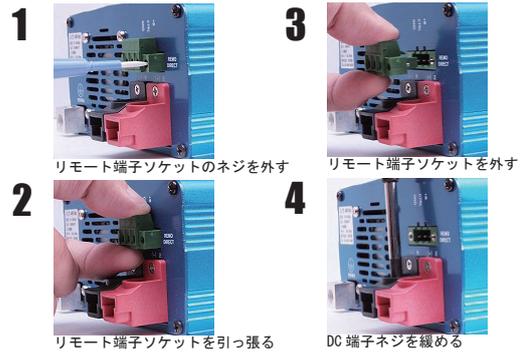
<https://www.powertite.co.jp>

Printed in Japan

POWERTITE® 及び TITEPOWER® は、(株)未来舎の登録商標です。

株式会社 未来舎はこの取り扱い説明書の著作権を有します。一部又は総ての使用については弊社の許諾を必要とします。 記：2010年11月3日

リモート端子使用時の DC 端子の取り付け方法



付属品のリモート端子ソケットをご使用の場合は、上記のように一度リモート端子ソケットを外した上で、DC 接続を行ってください。

誤作動防止スイッチ

